2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">英語学演習 1</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部英米3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">今井 澄子</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">Oxford English Dictionary の使い方、英語の変化</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>Oxford English Dictionary (OED) は歴史的用例から現代英語までの膨大な情報を提供し、単語の意味や多義語の意味拡張を調べるのみならず、語源・語の意味変化・用例の変遷などを知ることができる英語学専攻の学生なら一度は触れておきたい辞書です。しかし、情報量が膨大で、すべて英語による説明であるため、効果的利用するには「慣れ」が必要です。語源、定義、用例などを調べる課題と発表を通して OED に慣れ、現代英語以外の例文を見ることで英語の変化を実感することを目指します。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">授業参加度、演習形式の課題達成度等による総合評価。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">プリントを配布します</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>Oxford English Dictionary The History of the English Language in Simplified English</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">Gary Buck</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">英潮社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Oxford English Dictionary について 2. OED の使い方 3. OED で語源を調べる (1) (以下、受講学生による発表となります) 4. " (2) 5. " (3) 6. " (4) 7. " (5) 8. OED を使った研究実例 9. OED で意味・用例を調べる (1) (以下、受講学生による発表となります) 10. " (2) 11. " (3) 12. " (4) 13. " (5) 14. OED を使った研究実例 15. 前期演習内容についてのまとめ 		